

学校だより

【平成二十四年度 二月号】

薩摩川内市立 西山小学校

あすなろ

「海の子」「百合の子」「風の子」を目指す西山小学校歌



大先輩の教え

校長 長田 郁郎

学校の古い文書を整理していると、昭和二十九年の校長（久留哲雄先生）の書いた文章が出てきた。子どもたちへの接し方の基本を述べた文章であると思われるが、その内容が本当にすばらしくて感銘を受けた。いじめ、体罰問題が大きく取り上げられる現在、教師はどんな態度で子どもと接するべきか原点に返らないといけない、と改めて考えさせられた。

○ 児童に接する態度（昭和二十九年西山小学校要覧から）

- 一 子供の遊び仲間に入らぬ
- ・ 発育盛り、元気盛りの子供と遊ぶ、食い盛りの子供と共に食う、彼等の群れと遠く離れては、遠くから見ていては、彼等の内部に働くことは難しい。
- 二 大空のような伸びやかな心
 - ・ 如何なる時でも温顔、何時も平静・・・此の中から時に応じ、変に応じ、教師の知恵は生まれる。
- 三 教師の威厳は自然に生れ出づべきもの
 - ・ 児童の前に威厳を維持しようと努めたからとて、決して威厳が成り立つものではない。教師の人格から自然に流露映発すべきものである。優しい人は優しいまま、無愛想な人は無愛想のまま、児童に接すればよい。然し、作為を加えるなど言ったから、自己の短所がそのまま良いというのではない。そこには絶えざる努力と修養が必要である。そこにこそ人格が修練され権威も備わる。権威無き教育者は価値がない。
- 四 児童に対して敏感
 - ・ 子供を知らずには教育は出来ない。子供を知ることには教育に対する熱と児童愛から生まれる。子供を好くこと、之が先決。「心ここに在らざれば見れども見えず、聞けども聞けず、食えども其の味を知らず」
- 五 児童を信ぜよ
 - ・ 疑っては教育は出来ない。たとい、一時はだまされてもよい。其の中には信じ合つ。信じられない世界程不幸なことはない。
- 六 若さ
 - ・ 硬化した大人は子供の世界に入ることには出来ない。若さは子供を惹き付ける大きな力である。力は思想の清新、感情の敏感、体力の旺盛等である。

ALTによる英会話の授業



ALTのディック先生と楽しい英会話の学習を月一回行っています。この日は、スリーヒントゲームなどを取り入れた学習でした。

長浜小との交流学习(1/17)



長浜小で「情報モラル教育」についての授業（5・6年）に参加しました。メールを使用するとき注意すべき事などについて学習しました。

豆まき(2/1)



節分の日より少し早く、豆まきを校長室で行いました。逃げる赤鬼と青鬼に「鬼は外」と大きな声で叫び、落花生を投げて退散させました。



長浜小の半成人式（4年）に参加しました。自分の将来の夢と保護者への感謝の手紙を発表しました。また、半成人証書もいただきました。

長浜小での半成人式(1/17)

3月行事予定

- 4日(月) 移動図書館
- 6日(水) 学校・学級PTA
- 8日(金) お別れ遠足・会食
- 12日(火) 命を大切にすることを育む日
海星中卒業式
- 15日(金) 閉校記念式会場準備
- 16日(土) **閉校記念式
記念碑除幕式
惜別の会**
- 17日(日) 地域美化清掃
お別れ歩こう会
- 18日(月) 振替休日
- 20日(水) **【祝】**春分の日
- 25日(月) 修了式
- 25日(火)～4月7日(日) 春休み



昭和32年の学年別、地域別の児童数

学年別児童数				地域別児童数			
学年	男女別人数	計	担任	地域	男女別人数	計	
1年	男	20	32	開田	男	19	32
	女	12			女	13	
2年	男	18	30	小迫	男	17	27
	女	12			女	10	
3年	男	23	37	古町	男	16	28
	女	14			女	12	
4年	男	17	29	反圃	男	10	18
	女	12			女	8	
5年	男	7	12	新町	男	16	35
	女	5			女	19	
6年	男	10	25	的場	男	17	25
	女	15			女	8	
計	男	95	165	計	男	95	165
	女	70			女	70	

今回は、昭和三十二年頃、西山小学校ではどれくらいの子どもたちが学んでいたのかを紹介します。

学校の歴史パート⑩

学校関係者評価結果を裏面に掲載していますのでご覧ください。